

10月12日・13日、北海道札幌にて第48回 看護管理学会が開催されました。

藤井病院では、回復期リハビリテーション病棟師長(萩尾直美)が、示説による「非正規雇用看護師の学習ニードの実態と個人要因との関係」について、発表をしてきました。

専門職である臨床看護師は、質の高い看護を提供する使命において、自らの責任の下、自己の能力開発、維持、向上に努める責務を有する。と言われて

います。
この研究では、非正規雇用看護師のキャリア支援について考える、良い機会となり、これからのワーク・ライフ・バランスを考える時の一つの手段として捉えられることができれば、良いと期待をしております。



非正規雇用看護師の学習二ードの実態と個人要因との関係

○萩尾直美：医療法人良秀会 藤井病院 滋慶医療科学大学院大学 研究生

池西悦子：滋慶医療科学大学院大学医療管理学研究科

目的

看護師は、雇用形態に関わらず対象となる人々に質の高い看護を提供するため、提供できる能力を開発・発展させていく生涯学習が求められる。本研究は、非正規雇用看護師の学習行動を導く学習二ードの実態と個人要因との関係を明らかにし、非正規雇用看護師のキャリア支援について示唆を得ることを目的とする。

方法

調査対象：近畿地区200床以上の142施設のうち、看護管理責任者の同意が得られた施設に勤務する非正規雇用看護師。

調査期間：平成26年10月～平成27年4月。

調査方法：郵送法による自記式質問紙調査。

調査内容：非正規雇用の選択理由、経験年数、学習行動頻度、学習二ードアセスメントツール(臨床看護師用)(以下、学習二ード)¹⁾。

分析方法：各項目の記述統計と学習二ードの総得点、および項目別の得点を算出した。

倫理的配慮：所属大学の倫理委員会の承認を得て実施した。本演題発表に関連して、開示すべき利益相反はない。

項目	得点
総得点平均(±SD)	130.5 ±19
下位項目平均(±SD)	4.7 ±0.3

用語の定義

学習二ード：学習者の興味・関心、もしくは、学習者が目的達成に必要であると感じている知識・技術・態度であり、学習内容と要望の高さを表す。本研究では、三浦、舟島らの「学習二ードアセスメントツール(臨床看護師用)」で測定できるものとした。

結果

回収数：374部(回収率48%)(有効回答率76.2%)。

個人要因

非正規雇用の選択理由：図1参照。

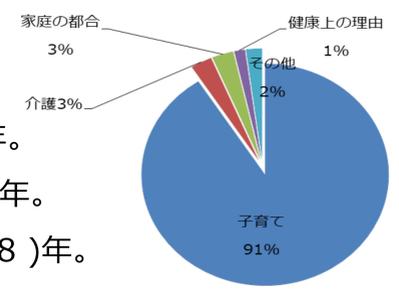
総臨床経験年数：平均15.59(±7.81)年。

正規雇用経験年数：平均8.29(±5.98)年。

非正規雇用経験年数：平均6.67(±5.38)年。

学習二ードの得点：表1参照。

学習二ードは経験年数、学習頻度の影響を受けていない。図2参照。



考察：学習二ード下位項目の平均得点は、3.9～5.1点で、三浦らの基準でみると20項目が低得点範囲であった。正規雇用看護師を対象とした先行研究では、高得点5項目、中得点19項目、低得点4項目であることから、非正規雇用看護師の学習二ードは低いことがわかる。非正規雇用看護師は雇用形態を選択した理由からも、キャリアアップより、ワーク・ライフ・バランスが優先されることから学習二ードの下位項目得点が低くなったと考える。その中でも学習二ードの高い項目は、日々の実践で必要とする内容であったことも、職業的発達課題よりも日々の実践課題に目が向いていることを裏付けていると考える。

学習行動は、院内、院外研修共に、正規雇用看護師の頻度に比べ低い結果となっており、学習二ードは学習行動を導くといわれていることから、時間確保の困難さに加え学習二ードの低さも一因であると考えられる。

非正規雇用看護師が自己の学習二ードを高めるためには、日々の実践から具体的な職業的発達課題を見出す内省の支援が必要である。

1)三浦弘恵,舟島なをみ：学習二ードアセスメントツール臨床看護師用の開発,看護教育学研究,15(1).7-19,2006.